

救急医療活動の流れ



従来

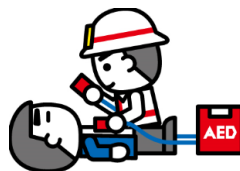
①情報収集

- ・紙ベースでの情報収集



②傷病者情報伝達

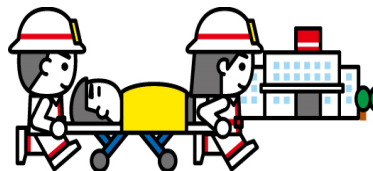
- ・携帯電話にて口頭連絡



主訴・現病歴・既往歴・掛かり付け病院・服用薬・氏名

③傷病者情報引継ぎ

- ・手書きの救急活動記録票を作成
- ・救急活動記録票での引継ぎ
- ・医師の署名
- ・複写用紙を医療機関へ



④活動終了後事務処理

- ・消防OAへデータを手作業で入力
- ・出動報告書の作成



①情報収集

- ・健康保険証、免許証お薬手帳等をOCR(光学文字認識)等により自動データ化
- ・心電図・事故の状況を撮影



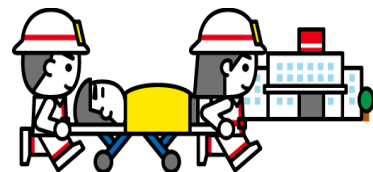
②傷病者情報伝達

- ・モバイル端末にてデータ送信
- ・リアルタイムに傷病者情報の確認
- ・傷病者の受入れ可否の早期判断



③傷病者情報引継ぎ

- ・救急車到着前に傷病者受入れの適切な準備
- ・検査や治療の早期開始
- ・傷病者情報をカルテへ取り込み
- ・ペーパーレス化



④活動終了後事務処理

- ・モバイル端末内データの取り込みによる出動報告書の作成
- ・作業負担軽減



システム導入後

